

Special Issue on State-of-the-art Precision Engineering Research in Japan

背景および趣旨

Precision Engineering - Journal of the International Societies for Precision Engineering and Nanotechnology (以下、PE 誌) では、State-of-the-art Precision Engineering Research in Japan と題した特集号を企画することになりました。本特集号の趣旨は、精密工学に関する日本の優れた研究を世界に発信し、精密工学とその関連分野をさらに大きく発展させることにあります。PE 誌の校閲システムが統合されて以来、優れた研究が多くなされているにもかかわらず日本からの論文の投稿数が従来の数分の一にまで減少し、掲載数も同様に伸び悩んでいるという現実があります。このような状況を打破するためにも、精密工学に関連する幅広い内容の論文について積極的な投稿をお待ちしています。

スコープ

PE 誌は、精密工学、計測、および製造の学際的な研究と実践に特化した学術誌です。具体的なスコープは以下に示す通りです。

- | | |
|--|---|
| 1. Additive Manufacturing | 11. Mechatronics and Control |
| 2. Assembly and Tolerances | 12. Metrology and Environmental Control |
| 3. Energy Transfer in Precision Engineering (Thermal and Fluid Dynamics) | 13. Nanotechnology and Nano Manufacturing |
| 4. Error Budgeting and System Analysis | 14. Non-Mechanical Material Removal |
| 5. Forming and Molding | 15. Optical Systems and Interferometry |
| 6. Machine Components and Subsystems | 16. Precision Manufacturing Systems and Process Control |
| 7. Machinery Design and Modeling | 17. Precision Positioning |
| 8. Material Handling and Automation | 18. Surface Engineering |
| 9. Material Removal and Processing | 19. Sustainable Manufacturing |
| 10. Materials for Precision Engineering | 20. Thermal Management |

投稿方法

投稿を検討される著者の皆様は、以下で説明する投稿手続きを十分にご確認ください。原稿は Guide for Authors (<https://www.sciencedirect.com/journal/precision-engineering/publish/guide-for-authors>) に則って作成ください。投稿システム (<https://www.editorialmanager.com/PRECISENG/default.aspx>) へログインし、投稿プロセスを進めてください。その際、“Select Article Type”において“**JSPE selected papers**”を選択して投稿するようお願いいたします。“Research Paper”を選択しないようご注意ください。

スケジュール

- 論文投稿受付開始 2025 年 8 月 1 日
- 論文投稿期限 ~~2025 年 12 月 31 日~~ 2026 年 3 月 31 日 (延長しました)

重要なお知らせ

- PE 誌の方針に従い、校閲チームは国際的に選定されます。
- 論文採否の最終判断は本特集号の Guest Editors ではなく、PE 誌の Editor-in-Chief が行います。
- 投稿後は即時に査読プロセスに入り、採択後すぐに掲載されます (一括掲載ではありません)。
- Out of scope にならないように、投稿前に PE 誌のスコープを把握しておいてください。
- Scope に入っても精密 (Precision) の観点から記述しなければ Desk reject の可能性があります。
- 校閲統合の後、論文の新規性や英語表現などに対する審査が厳しくなっていますので、ご注意ください。
- PE 誌は校閲統合後も当学会の英文誌であることは以前と変わらないので、積極的な投稿をお願いいたします。

本特集号の編集委員

- Executive Guest Editor:** 閻紀旺 (慶應義塾大学)
- Co-Guest Editors:** 高橋哲 (東京大学)、杉田直彦 (東京大学)、吉岡勇人 (東京大学)、柿沼康弘 (慶應義塾大学)、木下裕介 (東京大学)、木崎通 (東京大学)

お問い合わせ

木崎通 (kizaki@mfg.t.u-tokyo.ac.jp)、木下裕介 (kishita@pe.t.u-tokyo.ac.jp)